



# ホンキデアレ

校長室だより

NO. 4

令和4年6月3日

豊橋市立牟呂小学校

## 協力し合い、元気よく、力いっぱい活躍した運動会

5月28日(土)、運動会を開催しました。5月に実施するのは、3年ぶりです。そして、全校児童が一同に集まり、他学年の演技を参観しました。

どの学年も、コロナ感染に配慮し、演技内容を工夫しながら準備をすすめてきました。短距離走と表現運動・競争遊戯を中学年・低学年・高学年の順に行いました。

当日は天候にも恵まれ、「Collaboration」のテーマのもと、協力し合う姿や精一杯力を出し切り、活躍する姿が見られました。

6年生は、「ええじゃないか」の踊りを披露しました。これまで受け継がれてきた「ええじゃないか」をもとに、ダンス風アレンジしたものです。牟呂小からさらに広げたいという思いをもち、力強く表現しました。

この成果を今後の教育活動に生かしていきたいと思えます。保護者の皆様方には、感染症の対策をとりながらの参観にご協力していただき、ありがとうございます。



## 5年生が福祉体験学習を実施しました

5月31日(火)に、5年生が市建築指導課の職員、市の『人にやさしいまちづくりサポーター』を講師に招き、『人にやさしいまちづくり塾』を開催しました。

始めに、車いすの操作について、サポーターの方から説明を受け、坂道・段差・砂場で乗る側と介助する側の両方を体験しました。下り坂を降りるときは、「介助者は、声をかけて後ろ向きにゆっくりと降りる」「乗っている人は、ハンドリムをもって勢いがつかないようにする」と、安全に気をつけて協力しながら操作することの大切さを知りました。

その後、体育館でグループに分かれて、体験を通して気づいたことを意見交流しました。「車いすに乗って困っている人がいたら、声かけしていく」「自分が介助者としたら大変」など、体験から学んだ意見が出ていました。最後にサポーターの代表の方から、「車いすの人の気持ちがわかり、優しい気持ちの大切さに気づくことが大切です。優しい気持ちが広がっていくことで、『人にやさしいまちづくり』ができます」と、お話をいただきました。

相手の気持ちになって物事を考えることの大切さを学ぶよい機会になりました。

